

令和6年第1回北海道議会定例会 一般質問 開催状況
(経済部資源エネルギー局資源エネルギー課)

開催年月日 令和6年3月7日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

答弁者 知事

| 質 問 要 旨 | 答 弁 要 旨 |
|---|---|
| <p>六 特定放射性廃棄物最終処分について (真下議員)</p> <p>特定放射性廃棄物、いわゆる核のごみの最終処分に関する文献調査報告案が示されましたが、安全性の観点から、知事はどう受け止め、概要調査への移行にどう対応するのか伺います。</p> <p>また、この調査は能登半島地震発災前の検討であり、新しい知見が反映されておらず、安全性の検討としては全く不十分と考えますが、道としての検証をどのようなメンバーで、どのように行うのか。あわせて見解を伺います。</p> <p>【再質問】 六 特定放射性廃棄物最終処分について (真下議員)</p> <p>3日の対馬市長選挙で核ごみ反対の市長が大差で再選しました。</p> <p>専門家からは、文献調査報告案に対し、概要調査で結果を得られるか、評価できなければ税金を無駄に投じることになるのではないのかなど、異論も相次いでいます。</p> <p>文献調査報告書の完成後、概要調査の事業計画を申請する際、両町村長や知事のいずれかが反対すれば概要調査には進まない、経産大臣が確約をしています。その際、知事は反対を表明すると改めて答えました。2月15日の記者会見でも本議会でも、概要調査への移行に当たって、知事は、最終処分は北海道だけの問題ではなく、幌延の深地層研究において国の原子力政策で具体的な役割を果たしており、概要調査への移行に反対すると繰り返し述べていますが、その考えに変わりはないのか、そのことを報告書に反映するよう国やNUMOにどのように要請するのか、また、どのように国民的議論をリードするお考えなのか、お聞きしたいと思います。</p> | <p>(知事)</p> <p>文献調査についてであります。NUMOは、原子力規制委員会が示した避けるべき断層や火山現象など、「概要調査地区選定時の安全確保上の考慮事項」を踏まえ報告書案を作成したとしておりますが、道としては、報告書案の内容を審議する国の技術ワーキンググループ等において、安全性の観点も含め、十分な審議が行われることが必要と認識しています。</p> <p>また、エネルギー基本計画では、「地層処分の技術的信頼性について最新の科学的知見を定期的かつ継続的に評価・反映する」としており、国において、今後とも、こうした考え方を踏まえ、適切に対応していくものと考えております。</p> <p>私としては、文献調査終了後、仮に概要調査に移行しようとする場合には、道の条例制定の趣旨も踏まえ、現時点で反対の意見を述べる考えであり、その表明にあたっては、必要な国の手続きが経られた後に、道議会でのご議論はもとより、さまざまな機会を通じて把握した道民の皆様のご意見なども踏まえ、適切に対応してまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>文献調査についてであります。道では、現在、全国で唯一、深地層研究を受け入れ、国の原子力政策において、具体的な役割を果たしているとともに、最終処分の問題は、国民的議論が必要な問題であることから、国に対し、全国において、最終処分事業の理解促進に向けた取組を一層加速させることなどを要望しているところであります。</p> <p>また、先に公表された報告書案は、今後、国のワーキンググループ等で審議されると承知をしており、まずは、その審議状況を注視する考えであります。</p> <p>私としては、文献調査終了後、仮に概要調査に移行しようとする場合には、道の条例制定の趣旨を踏まえ、現時点で反対の意見を述べる考えであり、その表明にあたっては、必要な国の手続きが経られた後に、道議会でのご議論はもとより、さまざまな機会を通じて把握した道民の皆様のご意見なども踏まえ、適切に対応してまいります。</p> |